

近世以前、ヨーロッパや中東においては、人魚、一角獣といった不可思議だが実在するかもしれない生物や現象は、「驚異」として自然誌の知識の一部とされてきました。また、東アジアにおいては、奇怪な現象や異様な生物・物体の説明として「怪異」という概念が作りあげられてきました。自然界のどのような現象が「驚異」や「怪異」という超自然的なものとして認識され、どのような言説や視覚表象物として表れたのか、背景にどのような自然観があるのか、人類に共通した心の働きはあるのかといった点に注目し、西洋近代的なnatureとしての「自然」という概念そのものを、学際的・多元的視点から捉えなおします。

プログラム

- 13:00 ● 開会 開会の挨拶／平川南(人間文化研究機構 機構長)
13:15 ● 基調講演／ジル・クック(大英博物館 学芸員) 「人類はなぜモンスターを想像し、造るのか?」
14:00 ● 山中由里子(国立民族学博物館 教授) 「驚異と怪異の比較を通して見えてきたもの」
14:30 ● 黒川正剛(太成学院大学 教授) 「ヨーロッパにおける驚異とnature——近世から近代へ」
15:00 ● 休憩
15:15 ● 木場貴俊(国際日本文化研究センター プロジェクト研究員) 「怪異が生じる場」
15:45 ● 小松和彦(国際日本文化研究センター 所長) 「妖怪は超自然か?」
16:15 ● 質疑応答
16:30 ● 閉会

基調講演 講師のご紹介



ジル・クック Jill Cook (大英博物館 英国・ヨーロッパ先史副キーパー)
専門は、ヨーロッパ先史時代、氷河期の芸術。特別展“Living with Gods: Peoples, Places and Worlds Beyond”(「神々と生きる: あちら側の人・場所・世界」、2017年11月2日-2018年4月8日)、“Ice Age Art: Arrival of the Modern Mind”(「氷河期アート: 新人的精神の芽生え」、2013年)などのキュレーションを担当。

申込方法

Webサイト内の受付フォーム、もしくは往復ハガキにてお申し込みください。
※本人を含め2名まで ※先着順で、定員に達し次第締め切ります。

●申込フォームの場合

以下のWebサイト内の受付フォーム画面に従って必要事項をご入力ください。
https://www.nihu.jp/ja/event/symposium/37



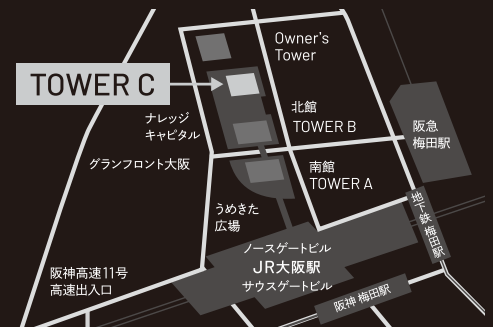
●往復ハガキの場合

Table with 4 columns: 往信の宛名面, 返信の文面, 返信の宛名面, 往信の文面. Contains address information and application details.

※往復ハガキでの申込締切日 2019年11月8日(金) 消印有効
往信文面に①-⑤と返信宛名面に申込代表者の住所・氏名をご記入のうえ、下記までご応募ください。
①参加者氏名(ふりがな) ※本人を含め2名まで ②住所 ③年齢(任意/2名分) ④電話番号 ⑤第37回人文シンポ
【宛先】〒565-8511 吹田市千里万博公園10番1号 国立民族学博物館3階
千里文化財団内 第37回人文シンポ事務局 ※参加申込された方の個人情報は本シンポジウムのみで使います。

アクセス

場所: グランフロント大阪北館タワーC8階
ナレッジキャピタルカンファレンスルーム
タワーC RoomC01+02



- グランフロント大阪 北館までの所要時間
・JR「大阪駅」(アトリウム広場)より徒歩約3分
・地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約3分
・阪急電鉄「梅田駅」より徒歩約3分

お問い合わせ

第37回人文機構シンポジウム事務局
(一般財団法人 千里文化財団内)
TEL: 06-6877-8893(平日9:00-17:00)
Mail: sympo@senri-f.or.jp